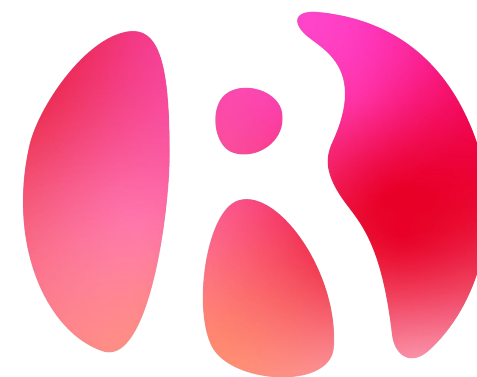


READYFOR

第38回インターネット消費者取引連絡会
クラウドファンディングサービス「READYFOR」の取組みについて



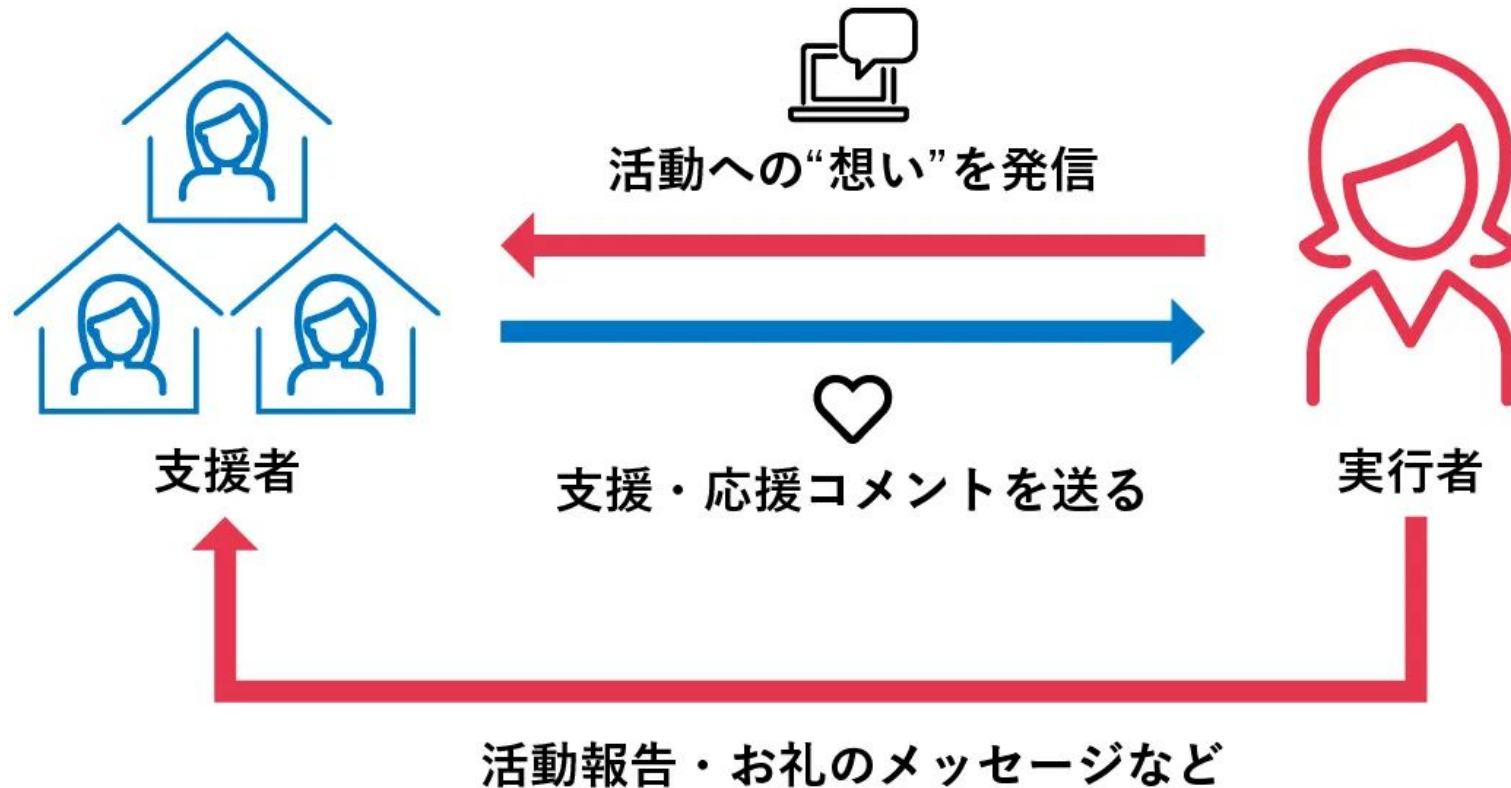
READYFOR

クラウドファンディングの仕組み



クラウドファンディングの仕組み

クラウドファンディング：群衆(crowd)と資金調達(funding)を組合せた造語。
取り組みたい活動、企画、アイデアを持つ人が、インターネットにプロジェクトページを掲載。
活動への想いを社会に呼びかけ、**広く支援者から支援を集める**仕組み。





プロジェクトページを構成する5つの要素

プロジェクトページには、以下の5つの要素を含めます。

- 1 タイトル
- 2 目標金額
- 3 公開期間
- 4 実施内容紹介
- 5 リターン説明

① 九州豪雨：災害に強い地域の拠点へ。鶴之湯旅館復活プロジェクト

鶴之湯旅館



支援総額 2,422,000円 目標金額 5,000,000円

48%

支援者 残り 147人 29日

プロジェクトの支援にすむ (ログインが必要です)

目標金額を達成した場合のみ、実行者は集まった支援金を寄付できることができます(air-contribution方式)。支援期間は10月22日(金)午後11時までです。

シェア フォイト LINEで送る 動画をみる

プロジェクト概要 新着情報 16 応援コメント 147

②

③

④ プロジェクト本文

リターン

20,000円



【おすすめ】鶴之湯旅館をミニ苔盆栽で見守るコース

・おれのお子紙 (香河家親之内西也さんの書写のお子紙)

⑤



クラウドファンディングの種類

	寄附型	購入型	金融型
支援時の 税額控除	あり	なし	なし
リターン	対価性なし	金銭以外の 商品やサービス	金銭 (株式、配当金等)
特徴	社会貢献性が高い	多様な活用方法あり	事業性が高い
実行者	認定NPO 公益法人等	さまざま	中小企業

※「READYFOR」においては、寄附者が税制上の優遇(寄附金控除)を受けられるクラウドファンディングを「寄附型」と呼んでいる。



クラウドファンディングの種類

	All or Nothing 型	All In 型
支援金	目標金額に達した場合のみ 支援金を受け取る	目標金額に達しなくても 支援金を受け取る
手数料	目標金額に達した場合のみ発生	目標金額の達成可否に 依拠せず発生
プロジェクトの実 行など	成立時のみ実行	達成の有無にかかわらず 実行の必要あり



クラウドファンディングの支援の流れ

支援者は、①子ども・福祉、②病院・医療、③地域の活性化、④国際協力、⑤芸術・文化の支援・保護、⑥起業、⑦デザイン、ものづくり、出版などさまざまなプロジェクトの中から支援を行うことができる。



① 応援したいプロジェクトを見つける

日々様々な種類のプロジェクトがスタートしています。立ち上げの想いや活動内容を確認して、気になるプロジェクトを見つけましょう。



② 金額を決め支援する&拡散する

支援金額は1000円から様々。気になるプロジェクトには、ぜひ支援と応援コメントを。また、SNSでの拡散も支援の方法の一つです。



③ プロジェクトの活動報告を確認

新着情報では、活動報告などが随時更新されます。支援して終わりではなく、ご自身の支援がどのように役立ったのか、確認してみましょう。



クラウドファンディングの事例

新型コロナウイルス感染症の拡大防止活動に緊急助成することを目的として立ち上がり、2020年4月3日～7月2日までにのべ20,468人が合計7億2646万5000円を支援。支援金は数次にわたって助成され、医療機関・福祉施設への医療・衛生物資の配布、子ども・生活困窮者の支援、医療従事者らのメンタルヘルス支援などの各種活動の助成に充てられた。なお、支援者は寄附金控除を受けることが可能（「寄附型」クラウドファンディング）。

新型コロナウイルス感染症：拡大防止活動基金

基金 新型コロナウイルス感染症：拡大防止活動基金

成立

新型コロナウイルス感染症
拡大防止活動基金

寄附総額

726,465,000円

寄附者

20,468人

募集終了日

2020年7月2日

プロジェクトは成立しました！

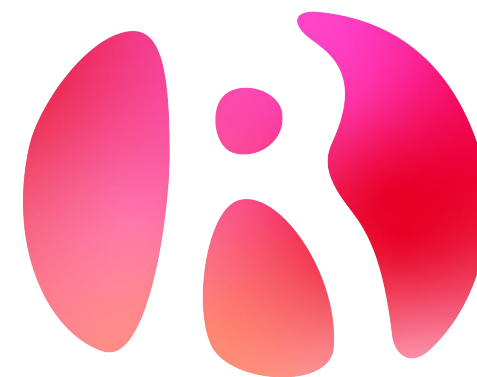
♡
689

シェア

ツイート

LINEで送る

noteで書く



READYFOR

安心・安全にご利用いただくために



「安心・安全」に関する基本的な考え方

以下のような理由から、クラウドファンディングサービスにとって「安心・安全」は非常に重要であると理解。

- クラウドファンディングは資金の流れに関わるサービスであり、システム、オペレーションの安定性を含め、高い信頼性が求められる。
- 支援金は、共感・応援などの想いの乗ったお金であり、支援後の透明性を確保することを含め、支援金の適正な取扱いを確保する必要がある。万一、支援金が不正に使用されることは支援者の期待に反する結果となる。
- インターネットを通じて広く支援金を集めるというクラウドファンディングの性質上、その悪用リスクは否定できないため、適切に対処する必要がある。



「安心・安全」に関する取組みの概要

本資料では、以下のリスクに関する対策の実施状況をご説明する。

- サービスのルールの**明確性**に関するリスク
- 支援金の取扱いに関するリスクと
- プロジェクトページに関するリスク
- 実行者によるプロジェクトの実行、リターンの提供に関するリスク
- 詐欺、マネーロンダリングなどの不正利用のリスク



サービスのルールの明確性に関するリスクと対策

リスク

- クラウドファンディングは新しいサービスであり、支援者において、クラウドファンディング実施上のルールや、実行者が支援者に対していかなる義務を負うかなどのサービスのルールを十分理解しないまま支援を行うリスクがある。
- たとえば、①「目標金額」「支援募集期間」などのクラウドファンディングの実施ルール、②支援金の返金に関するルール、③支援を行った場合に支援者と実行者との間で成立するユーザー間契約の内容などが十分に理解されない可能性がある。

対策

- 当社とユーザー（実行者、支援者）、ユーザー間（支援者と実行者との間）の権利義務関係の明確化を意図して利用規約を策定。
- これに加え、ガイドライン、ヘルプページなどを充実し、ルールの明確化を意識。
- サービス上も利用規約、ガイドラインなどをユーザーが閲覧しやすい場所に表示。
- 特に重要性が高いクラウドファンディングの達成条件や返金条件については、支援動線でも記載するなど、十分かつわかりやすい説明を意識。



(ご参考) ルールの明確化とサービス上の説明

1

利用規約

①

第6条 (ユーザー間契約)

1. 支援者がクラウドファンディングに対する支援を行った場合、支援者と実行者との間で、支援者が実行者に対して支援金を支払う義務を負い、実行者が支援者に対し、(i)プロジェクトページの内容に従ってプロジェクトを実行すること、(ii)同内容に従って支援金を使用すること、および、(iii)同内容に従ってリターンを提供する義務を負うことを主な内容とする契約（以下「ユーザー間契約」といいます。）が成立するものとします。ただし、クラウドファンディングが成立しなかった場合、ユーザー間契約は支援時に遡って取り消されるものとします。

2

ガイドライン

3

支援前の説明

②

サービスについて

[All-or-Nothing方式とAll-in方式について](#)

[「寄附型」クラウドファンディングについて](#)

[早期入金オプションサービスについて](#)

クラウドファンディングの公開

[プロジェクトページ作成時の留意事項](#)

[プロジェクトページ上の実行者名の表示](#)

[プロジェクトの実現可能性について](#)

[リターン設定上の留意事項](#)

[募集期間について](#)

[必要金額および資金使途について](#)

[目標金額について](#)

[プロジェクトの実施完了日について](#)

[ネクストゴールについて](#)

③

プロジェクトの支援にすすむ



74

目標金額の達成の有無にかかわらず実行者は支援金を受け取ります (All in 方式)。原則、支援のキャンセルはできません。支援募集は9月30日 (水) 午後11:00までです。



支援金の取扱いに関するリスクと対策

リスク

- 金融ライセンスは不要であるものの、クラウドファンディングは資金の流れに関与するサービスであり、支援金の取扱いに関する不備はあってはならない。
- 他方、不特定多数のご支援を取り扱うとともに、返金等も発生するため、支援金の取扱いは相応に複雑となる(オペレーション上の過誤が発生しやすい)。
- 仮に支援金の取扱いに不備があった場合、支援が実行者に届かない、又は支援者への返金が行われないなどの形で支援者に不利益が及ぶおそれがある。

対策

- 支援金(預り金)と自己資金の分別管理を行い、会計上も別科目として処理。
- 支援のキャンセル、目標金額の未達成、支援募集期間中のクラウドファンディングの中止、プロジェクトの実現可能性に疑義が生じた場合の対応など、イレギュラーな対応を含め、支援金の取扱いに関するルールを明確化。
- そのルールを踏まえたシステム構築、オペレーションの整備を通じ、その安定的な運用に努める。



プロジェクトページに関するリスクと対策

リスク	<ul style="list-style-type: none">● プロジェクトページには、実行者が実行するプロジェクトの内容や、支援者に提供するリターンの内容などが記載され、支援者にとって支援を行うか否かを判断する上で重要な判断材料となる。仮にプロジェクトページの内容に虚偽、誇大表現などがある場合、<u>支援者が判断を誤るおそれ</u>がある。● 景品表示法、薬機法その他の<u>広告規制</u>を遵守する必要もある。また、肖像権、著作権などの<u>第三者の権利</u>を侵害しないことも必要となる。
対策	<ul style="list-style-type: none">● 実行者に対し、プロジェクトページを<u>正確かつ真実に作成する義務</u>を課す。● <u>プロジェクト実行上のリスク</u>に関しては、担当者においてヒアリングした上でプロジェクトページに明記するように要請することも少なくない。● クラウドファンディングの公開前に専門部署が<u>プロジェクトページの表現に関する審査</u>を実施。法令に違反し、又は第三者の権利を侵害するおそれがある表現に関しては<u>削除・修正を求める</u>などの対応を行う。



(ご参考)プロジェクトページにおける説明の例

1

留意事項の明記

2

税務上の取扱い

①

●ご留意事項

このクラウドファンディングは、将来の検査キットの製品化に向けて、初期プロトタイプの完成を目指すための研究開発費用を集めるものです。その後、感度や特異度の向上・改善に向けた実験を繰り返し、プロトタイプの改善を行います。さらに必要な許可を得て臨床治験を実施し、その結果の評価を経て実用化を目指します。そのため、検査キットの実用化は数年以内となる見込みです。

また、本検査キットは、実用化に至るまでに、十分な検査精度の実現可否、検体の調達可否、臨床治験のための許認可の取得可否、製造販売業許可を持つ企業とのパートナーシップ締結の可否などが課題となりうることにについてはご理解いただけますと幸いです。

②

Q5：本基金への寄付は、税制上の優遇措置の対象となりますか？

本基金が設立されている（公財）東京コミュニティー財団は、内閣府より「公益財団法人」として認定されており、本基金への寄付は、次のとおり税制上の優遇措置が受けられます。本基金が発行する寄付金額収書をもって、それぞれ所轄の税務署で申告してください。

※本基金への寄付の控除において「税額控除」は選択いただけませんので、あらかじめご了承ください。

(1)個人の場合

- ①所得税所得の40%を上限として、寄付の合計金額から2000円を差し引いた金額が所得控除の対象となります。
- ②東京都在住の方の個人住民税東京都にお住まいの方は、本基金への寄付は、個人住民税からの寄付金税額控除の対象となります。控除額は最大「(寄付金額-2千円)×10%」です。 ※詳細につきましては、お住いの市区町村を管轄する税務署・自治体にお問い合わせください。



実行者によるプロジェクトの実行、リターンの提供に関するリスクと対策

リスク

- クラウドファンディングが成立した場合、実行者は支援者に対し、プロジェクトページの内容に従ってプロジェクトを実行し、また、リターンを提供する義務を負う。
- もっとも、実行者がプロジェクトの進捗等について報告を行わない場合、支援者にとってプロジェクトの実施状況を確認できないリスクがある。
- その他、将来のプロジェクトは不確実性を伴うこともあり、プロジェクトの実行やリターンの提供が行われないリスクもある。

対策

- クラウドファンディングの公開前に専門部署が審査を実施し、プロジェクト、リターンの適法性(必要な許認可等の取得状況を含む)、実現可能性に関して審査。
- 実行者に対し、プロジェクトの実行、リターンの提供に関する報告義務を課す。
- プロジェクトの実行、リターンの提供に関する報告は事前及び事後にリマインドを実施。また、実行者に対し、リターンの提供状況の管理システムを提供。
- 支援者からプロジェクトの実行やリターンの提供に関して問合せを受けた場合、事実関係を確認した上で、トラブルの解決又は事態の前進のための働きかけを行う。この点に関しては「ユーザー間トラブルに関するポリシー」を策定し、公開。



詐欺、マネーロンダリングなどの不正利用のリスクと対策

リスク	<ul style="list-style-type: none">● インターネットを通じて広く支援金を集めるという性質上、<u>金銭を騙し取</u>ることを企図したクラウドファンディングが実施されるリスクが否定できない。● 支援金から実行者に資金が移動する性質上、クラウドファンディングが<u>マネーロンダリングなどの不正に利用される</u>リスクが否定できない。
対策	<ul style="list-style-type: none">● プロジェクト、リターンの実現可能性、適法性の審査(前ページご参照)。● これに加え、クラウドファンディングの公開前に専門部署が審査を実施、所定の方法で実行者の<u>本人確認</u>を行うとともに、公知情報等に基づく<u>コンプライアンスチェック</u>を実施。● プロジェクトページ上に<u>本名を表示</u>することを原則とする。● <u>不正支援の検知</u>の実施。● 支援募集期間を原則10日以上とする(公衆による監視機能にも期待)。



(ご参考)官公庁とのご連携

国民生活センター	ご訪問し、サービスの安心・安全に関する当社の取組みをご説明し、フィードバックを頂くなどしている。
都道府県薬務課	東京都薬務課にご訪問し、薬機法の広告規制遵守などに関する当社の取組みをご説明し、フィードバックを頂くなどしている。
(公財)暴追都民センター	反社チェックに関するご指導を頂くなどしている。
警察署	実行者の対応に問題がある場合に対応をご相談させて頂くなどしている。